



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校

農業漁業民泊体験を実施しました

10月26日、27日に中学1年生が農業漁業民泊体験を実施しました。本活動は肝付町及び周辺の市町の一般家庭に宿泊し、様々な体験活動を通して本校と関係の深い周辺地域への愛着を育むとともに命を頂く体験を通じた食農体験を目的としています。

生徒は、体験当日を楽しみしながら準備を進めてきました。体験先の御家庭に初めての電話をした際は、緊張感しながらも、入念に日程や注意点、準備物などを確認していました。

入村式にて受入家庭と対面し、自己紹介を通して緊張がほぐれていく様子が見られました。1泊2日という短い時間の中で、これまで経験したことがない非常に充実した体験活動を通して、学校の勉強だけでは得られない貴重な学びを多く得ることができ、よき成長の機会となりました。退村式では、すっかり打ち解けた受入家庭と生徒が名残惜しさを感じながらも別れの言葉を交わす姿が印象的でした。

今回の農業漁業民泊体験に際して生徒たちを受け入れてくださった御家庭の皆様、実施に当たって多くの御支援を賜った肝付町観光協会及び周辺市町のツーリズム部会の皆様に深く感謝申し上げます。



高校

「だるまの目入れ」で決意新たに

10月5日、大学入学共通テストまで残り100日となったこの日、高校3年生は毎年恒例の「だるまの目入れ式」を行いました。この「だるまの目入れ式」は、開校以来毎年行っており、今年で7回目になります。

まずは、校長先生から激励の話があり、その後、各クラスの代表生徒が決意表明をし、各クラスの担任と学年主任から激励の話がありました。代表生徒の話では、「勉強」についての話や、これまでを振り返つての話、これから受験に向かってみんなで団結して良い集団を作ろうという意気込みなど、それぞれが熱い思いを語りました。

また、3学年の保護者から、共通テストにも使える鉛筆と消しゴムをいただきました。これを使ってより一層勉強に励んでくれることと思います。

